

## (9) 自主防災リーダー養成講座

坂本 麻衣子

地域の防災力向上の推進役となるリーダー養成の必要性は言をまたない。防災士制度は阪神大震災の際の教訓を受けて、自助・共助・公助の連携を促進し、災害時はもちろん平常時においても地域の防災力向上のために活動する地域住民の養成を目的に整備された制度である。定められたカリキュラム、実技を経て、試験に合格すれば、防災士の資格（日本防災市機構による民間資格）が授与される。災害時や日常時に、災害に対する備えを十分かつ的確に実施することは容易なことではない。特に、災害時には思い込みのようなものに行動を左右され、被害がより大きくなることも少なくない。したがって、防災のリーダーとなるためには、十分な意識・知識・技能が必要となる。

長崎県および長崎市では、このような防災の中心となる地域の人材の育成を目標に、昨年度より、長崎県防災推進員（自主防災リーダー）養成講座、長崎市民リーダー養成講座を実施している。

長崎県危機管理防災課主催の講座は10月23日（土）～25日（月）に佐世保市にて、11月13日（土）～15日（月）に長崎市にて開かれ、3日間の研修プログラムを経た後に防災資格取得試験を受験するというものである。通常、防災士資格認定のために要されるカリキュラムを受講するには費用を負担する必要があるが、当養成講座は無料である。防災士試験の受験や、認証を希望する場合は、別途費用がかかる。講師陣は防災の分野における著名な方々で構成され、本センターからは高橋和雄教授が『気象災害（土砂災害）』について講義を行った。今回の出席者の特徴として、福祉施設関係者の参加が目立った。

長崎市総務部防災危機管理室主催の長崎市民防災リーダー養成講座は6月27日（日）・8月29日（日）、10月17日（日）・12月12日（日）の各回2日間で構成され、2度に渡って実施された。各回の1日目は、風水害や土砂災害の実態などの防災知識に関する座学、災害弱者などの搬送、ロープ技術、2日目は、救急法などの実技、防災マップの作成方法、自主防災組織の結成手続きによって構成され、修了後は市長名の認定証が付与された。本センターからは、坂本麻衣子准教授が「防災マップの作成方法」について、また、本学工学部からは杉本智史助教が「災害のしくみと対策『土砂災害』」について講義を行った。長崎県は自主防災組織の結成率が低いため、講座はこの現状を改善し、将来の組織運営の核となるリーダーの育成を念頭に置いた構成であった。

長崎市の養成講座においては、座学は地元の大学教員や市の職員が担当し、実技に関しては消防局や日赤支部の指導員が指導した。地域密着型であり、翌年度も同様の講座が開催される予定である。また、「防災マップの作成」に関しては、受講者からの希望も勘案し、座学と災害図上訓練（DIG）の実技演習を組み合わせた内容にし、防災リーダーに認定された方々がその後、地域で自主的に実践できるような内容のカリキュラム構成にすること

が検討されている。また、防災リーダーとなった方々を巻き込んだ今後の地域防災力向上のための活動についても、徐々に議論されつつあるようである。

## 平成22年度 長崎県防災推進員（自主防災リーダー）養成講座 の受講者を募集しています！！

近年では、全国各地で大雨や台風などによる大きな被害が発生しています。毎年のように発生する集中豪雨や台風、また、いづどこでも起こりうる地震災害などについての備えは大切です。

本講座を受講し、防災に関する知識・技術を身につけ、地域や職場の「防災力」の向上に貢献しましょう。

### 「平成22年度長崎県防災推進員（自主防災リーダー）養成講座」開講のご案内

○開講日・開催場所：

佐世保会場	10月23日(土)~10月25日(月)	佐世保市労働福祉センター2階 大会議室
長崎会場	11月13日(土)~11月15日(月)	長崎県農協会館7階 701号室

※各会場とも3日目に、防災士の資格取得試験(特定非営利活動法人 日本防災士機構)を行います。

- 受講対象：自主防災組織のリーダー、防災ボランティア、民間企業の防災責任者など地域・職場の防災の担い手やそれをめざす方で、長崎県内在住または在勤の方
- 募集人員：各会場とも70名(定員になり次第、募集を締め切ります。)
- 申込方法：別紙「参加申込書」により、郵送、ファックス又はEメールで申し込んでください。  
※長崎県総合防災ポータル(<http://www.pref.nagasaki.jp/sb/preparation/004/kouza.html>)に掲載しています。
- 申込期間：平成22年8月2日(月)~平成22年9月13日(月)必着
- 受講決定：9月24日(金)頃までに郵送(防災士教本等を同封)でご連絡します。
- 受講料：無料 ※防災士資格取得試験を受験される方は、受験料等が必要です。  
※昼食のお弁当を注文される方は、各自のご負担となります。(1食500円程度を予定)
- 申込先：〒850-8570 長崎市江戸町2-13 長崎県危機管理防災課  
FAX:095-821-9202 Eメール:s27100@pref.nagasaki.lg.jp (担当:石崎)

### ～防災士の資格を希望される方へ～

本講座3日目に防災士資格取得試験を実施しますが、防災士試験の受験や認証には以下の条件があります。

防災士資格試験・認証については、特定非営利活動法人 日本防災士機構が実施します。

(受験料3,000円)、(認証料5,000円)が必要です。

○防災士認証の条件

- ①本講座(3日間)の履修。
- ②「防災士教本(日本防災士機構発行)」の自学学習によるレポートの提出。
- ③各消防署が実施する「普通救命講習Ⅰ又はⅡ」又は日本赤十字社が実施する「救急法基礎講習」等の受講。(防災士資格試験後の受講でも構いません。)

※ 詳細は、受講決定通知時(9月24日頃まで郵送)にお知らせします。

日本防災士機構 TEL 03-3592-1511 URL <http://www.bousaisi.jp/>

問い合わせ先

〒850-8570 長崎市江戸町2番13号 長崎県危機管理防災課 (担当:石崎)  
TEL 095-895-2143 FAX 095-821-9202 Eメール s27100@pref.nagasaki.lg.jp

## 長崎県防災推進員養成講座 会場研修プログラム (佐世保)

【佐世保会場】 日時：平成 22 年 10 月 23 日(土)～平成 22 年 10 月 25 日(月)

場所：佐世保市労働福祉センター 2 階 大会議室

(佐世保市稲荷町 2 番 28 号)

	10/23(土)	10/24(日)	10/25(月)
	(9:00～9:30) 受付	(9:00～9:20) 受付	(9:00～9:20) 受付
1 時限	(9:30～9:50) オリエンテーション	(9:20～10:20) 応急手当の基礎知識 〈佐世保市消防局〉	(9:20～10:20) 災害情報と避難 (最近の豪雨災害に学ぶこれからの地域防災) 〈片田敏孝講師〉
2 時限	(10:00～11:00) 地震のしくみと被害 〈清水 洋講師〉	(10:30～11:30) 被災者支援 〈福岡博孝講師〉	(10:30～11:30) 地域での実際の取組事例 (地域防災力を高めるリスク・コミュニケーション) 〈片田敏孝講師〉
3 時限	(11:10～12:10) 火山のしくみと被害 〈清水 洋講師〉	(11:40～12:40) 気象災害(土砂災害) 〈高橋和雄講師〉	(11:40～12:40) 災害をもたらす激しい気象現象 〈豊福隆夫講師〉
4 時限	(13:10～16:30) 【演習】 災害図上訓練(DIG) 〈瀧本浩一講師〉	(13:40～14:40) 災害とボランティア 〈宮下加奈講師〉	(13:40～15:40) 【演習】 防災クロスロード 〈蓮本浩介講師〉
5 時限		(14:50～16:50) 【演習】 避難所運営ワークショップ 〈宮下加奈講師〉	
6 時限			(15:50～16:50) 防災士資格取得試験

◎上記の時間割は、講師の公務、交通事情、災害の発生等により変更することがあります。

### ●予定講師陣

片田 敏孝 (群馬大学大学院 教授)

佐世保市消防局

清水 洋 (九州大学大学院理学研究院附属地震火山観測研究センター 教授)

高橋 和雄 (長崎大学 教授)

瀧本 浩一 (山口大学大学院 准教授)

豊福 隆夫 (長崎海洋气象台 次長)

蓮本 浩介 (特定非営利活動法人 災害福祉広域支援ネットワーク・サンダーバード 理事)

福岡 博孝 (福岡博孝法律事務所、法テラス長崎所長 弁護士)

宮下 加奈 (一般社団法人 減災・復興支援機構 専務理事)

◎ 五十音順。敬称略。

## 会場案内

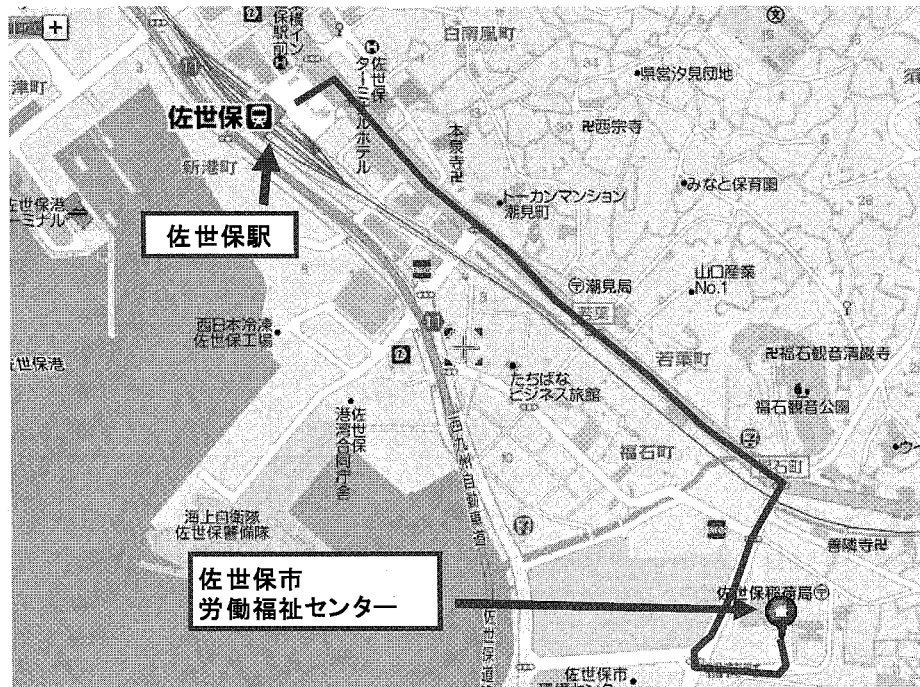
(佐世保)

【佐世保会場】 10月23日(土)~10月25日(月)

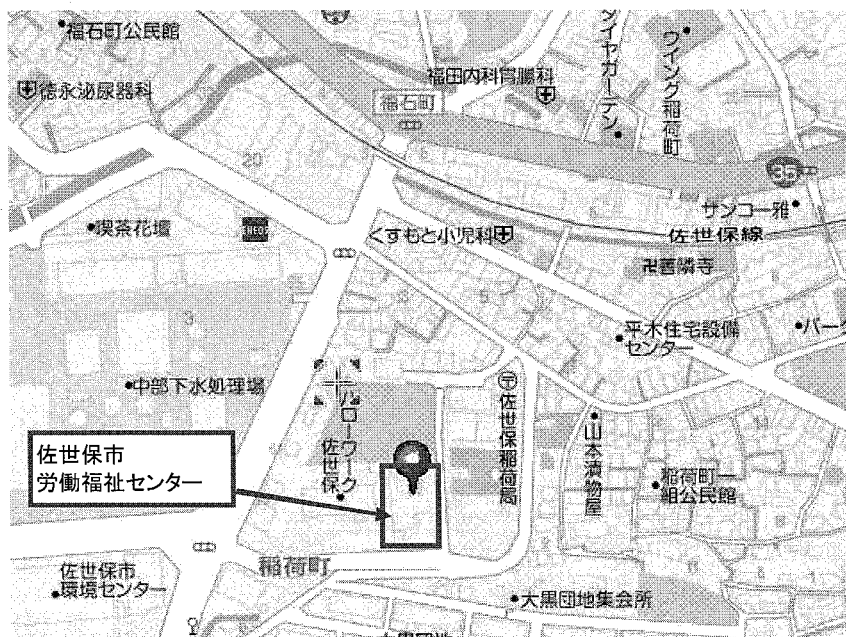
佐世保市労働福祉センター 2階 大会議室

(佐世保市稲荷町2番28号 TEL:0956-32-8929)

- JR佐世保駅から徒歩約20分
- 大宮市場下バス停下車徒歩約5分
- 福石観音前バス停下車徒歩約8分



○駐車場に限りがありますので、公共交通機関のご利用にご協力ください。



## 長崎県防災推進員養成講座 会場研修プログラム (長崎)

【長崎会場】 日時：平成 22 年 11 月 13 日(土)～平成 22 年 11 月 15 日(月)

場所：長崎県農協会館 7 階 701 号室

(長崎市出島町1番20号)

	11/13(土)	11/14(日)	11/15(月)
	(9:00～9:30) 受付	(9:00～9:20) 受付	(9:00～9:20) 受付
1 時限	(9:30～9:50) オリエンテーション	(9:20～10:20) 災害情報と避難 (最近の豪雨災害に学ぶこれからの地域防災) 〈片田敏孝講師〉	(9:20～10:20) 災害をもたらす激しい気象現象 〈豊福隆夫講師〉
2 時限	(10:00～11:00) 地震のしくみと被害 〈清水 洋講師〉	(10:30～11:30) 地域での実際の取組事例 (地域防災力を高めるリスク・コミュニケーション) 〈片田敏孝講師〉	(10:30～11:30) 被災者支援 〈福崎博孝講師〉
3 時限	(11:10～12:10) 火山のしくみと被害 〈清水 洋講師〉	(11:40～12:40) 気象災害(土砂災害) 〈高橋和雄講師〉	(11:40～12:40) 災害とボランティア 〈宮下加奈講師〉
4 時限	(13:10～14:10) 応急手当の基礎知識 〈長崎市消防局〉	(13:40～16:50) 【演習】 災害図上訓練(DIG) 〈瀧本浩一講師〉	(13:40～15:40) 【演習】 避難所運営ワークショップ 〈宮下加奈講師〉
5 時限	(14:20～16:30) 【演習】 防災クロスロード 〈蓮本浩介講師〉		
6 時限			(15:50～16:50) 防災士資格取得試験

◎上記の時間割は、講師の公務、交通事情、災害の発生等により変更することがあります。

### ●予定講師陣

- 片田 敏孝 (群馬大学大学院 教授)
- 清水 洋 (九州大学大学院理学研究院附属地震火山観測研究センター 教授)
- 高橋 和雄 (長崎大学 教授)
- 瀧本 浩一 (山口大学大学院 准教授)
- 豊福 隆夫 (長崎海洋気象台 次長)
- 長崎市消防局
- 蓮本 浩介 (特定非営利活動法人 災害福祉広域支援ネットワーク・サンダーバード 理事)
- 福崎 博孝 (福崎博孝法律事務所、法テラス長崎所長 弁護士)
- 宮下 加奈 (一般社団法人 減災・復興支援機構 専務理事)

◎ 五十音順。敬称略。

## 会場案内

(長崎)

【長崎会場】 11月13日(土)~11月15日(月)

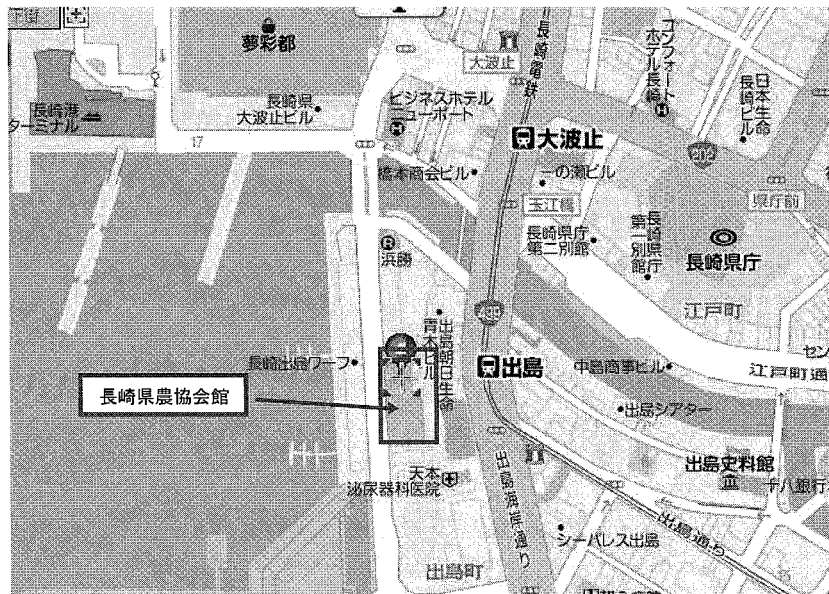
長崎県農協会館 7階 701号室

(長崎市出島町1番20号 TEL: 095-820-2280)

- JR長崎駅から徒歩約20分
- 路面電車…出島電停下車すぐ
- バス…大波止バス停下車徒歩約3分



※駐車場は利用できません。公共交通機関をご利用ください。



長崎県危機管理防災課 石崎行き  
**FAX: 095-821-9202**  
 E-Mail: [s27100@pref.nagasaki.lg.jp](mailto:s27100@pref.nagasaki.lg.jp)

**「長崎県防災推進員(自主防災リーダー)養成講座」  
 参加申込書**

開催地/開催日 (希望会場にチェック)	<input type="checkbox"/> 【佐世保会場】 平成 22 年 10 月 23 日(土)～10 月 25 日(月) 3 日間 <input type="checkbox"/> 【長崎会場】 平成 22 年 11 月 13 日(土)～11 月 15 日(月) 3 日間		
(ふりがな) 氏 名	( )		
性 別	男 ・ 女	生年月日	年 月 日 ( 歳)

勤務先・団体名			
部 署 名		役職名	
防災経験	職場・地域等で防災に従事されている方は、その名称・役割等を御記入ください。 (例:○○町消防団、■■病院防災担当)		
昼食(弁当)希望	<input type="checkbox"/> 1 日 目 / <input type="checkbox"/> 2 日 目 / <input type="checkbox"/> 3 日 目		

防災士資格試験 (どちらかにチェック)	本講座3日目に日本防災士機構が実施する防災士資格取得試験を <input type="checkbox"/> 受験する <input type="checkbox"/> 受験しない		
研修教材等送付先	送付先にチェックを入れてください。 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先 <input type="checkbox"/> その他		
郵便番号	〒	-	
住 所			
電話番号	( )	-	
メールアドレス			

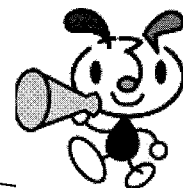
通信欄	
-----	--

★ 本申込書に御記入いただいた個人情報につきましては、研修開催における本人確認、受講者名簿の作成、修了証の発行、研修に関する連絡のための目的にのみ使用いたします。

申込期間：平成 22 年 8 月 2 日 (月) ～平成 22 年 9 月 13 日 (月) 必着。



# 長崎版防災士 第2回 「市民防災リーダー」養成講習



## 受講者を募集します！！

昭和57年の長崎大水害、平成3年の台風19号災害など、過去の災害教訓を踏まえ、大規模災害に備えて、地域を守り、減災を図るため、地域の防災力の推進役となるリーダーを養成します。

この方を「市民防災リーダー」と位置づけ、地域や自治会の中で、活動してもらうことにより、地域の防災力を向上させ、「自分の地域はみんなで守る」という、災害に強いまちづくりを目指しましょう。

昨年度は、86名の方が、長崎市民防災リーダーとして認定されました。  
多数の方の受講応募をお待ちしております。

### 「市民防災リーダー」養成講習

#### 1 日時

日程	平成22年6月27日(日)及び8月29日(日)の2日間受講
時間	両日とも9時から17時まで 普通救急講習修了者は8月29日の午前の研修は免除となります。
人員	100人(応募者多数の場合は、次回をご案内します。) 次回は、10月17日(日)及び12月12日(日)です。予約もできます。
場所	長崎市興善町3-1 長崎市消防局講堂 (中央消防署の5階)
受講料	受講料は無料です。

#### 2 受講対象

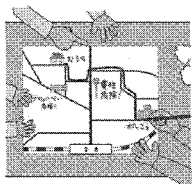
- ・受講を希望される方で、将来、地域や自治会で防災の推進役として活躍して頂ける方
- ・地域、自治会長、自主防災組織から推薦を受けた方
- ・長崎市在住者及び市内に勤めている方で、事業所や各団体から推薦を受けた方

#### 3 認定証及び修了証

2日間の受講後、長崎市長から「市民防災リーダー認定証」が交付されます。  
また、長崎市消防局長から「普通救命講習修了証」も交付されます。

#### 4 申込み方法

防災危機管理室へ電話で申し込んでください。



#### 申し込み・問い合わせ先

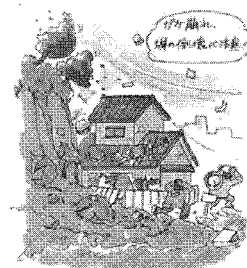
〒850-0032

長崎市興善町3-1(消防局庁舎6階)

長崎市総務部防災危機管理室


問い合わせ 電話番号 822-0480

申込み送付 FAX番号 820-0108





## 「市民防災リーダー」養成講習 カリキュラム

時 間	1 日 目	2 日 目
	6月27日(日)・10月17日(日)	8月29日(日)・12月12日(日)
9 時～ 10 時 30 分	オリエンテーション 市民防災リーダーの役割と本市の防災体制（長崎市防災危機管理室）	普通救命講習 （長崎市消防局）  心肺停止状態に行う心臓マッサージや骨折や出血時の応急手当てを学びます。AEDの使用方法も修得できます。修了後は、普通救命講習修了証が交付されます。
	市民防災リーダーの役割や、長崎大水害以降の防災体制の取り組みや、現在の避難所等の状況を確認します。	
10 時 30 分 ～12 時	災害のしくみと対策「土砂災害」 （長崎大学工学部）	
	土砂災害の仕組みを学び、被害を軽減する方法について学びます。	
13 時～ 13 時 50 分	気象と災害 （長崎海洋气象台）	13 時～14 時 30 分 災害とボランティア （日本赤十字社長崎県支部）
	大雨、台風、土砂災害情報などの気象と災害の関係を学びます。	避難所で避難されている方への支援活動の方法を学びます。
14 時～17 時	施設見学 （長崎市消防局・防災危機管理室）	14 時 40 分～15 時 40 分 防災マップの作成方法 （長崎大学工学部）
	消防局指令室見学・防災体験広場 防災無線放送室の見学	自分の地域の危険箇所や避難経路、要援護施設を記入した災害時に活用できる防災マップの作り方を学びます。
	搬送方法、簡易水防工法 （長崎市防災危機管理室）	15 時 50 分～16 時 40 分 自主防災組織の必要性和結成の仕方、訓練の実施方法、意見交換 （長崎市防災危機管理室）
	毛布や物干し竿を使った簡易担架の作成方法、身の回りのものを使った搬送方法や水防工法を学びます。	自主防災組織の結成方法、また自分の地域での訓練計画の立て方を学びます。
	ロープワーク （長崎市消防局）	16 時 45 分～ 認定証および修了証交付式
	自分の命を守るため、救出する時のロープの活用方法を学びます。	

◎ 時間割は、講師の都合や災害の発生状況により変更することがあります。

◎ この講習の「市民防災リーダー」は長崎市長が認定する「長崎版の防災士」です。

特定非営利活動法人日本防災士機構が認定する「防災士」ではありません。

「防災士」は、認定研修機関における3日間の研修（受講費有料）と救急救命講習を受講し、さらに、「防災士資格取得試験」に合格することで「防災士」として認定されます。